

災害時の防災対応(TEC-FORCEの派遣)

平成20年4月創設

(1)緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣

目的

大規模な自然災害に際して、被災状況の把握や被災地方自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施する。

活動内容

大臣指揮命令のもと、全国の各地方整備局等が以下の活動を実施

- 被災状況の調査
- 災害緊急対応
 - ・緊急輸送路の確保
 - ・緊急湛水排除
- 被災地支援
 - ・リエゾンの派遣
 - ・衛星通信車等の派遣による通信確保
 - ・災害復旧に関する技術指導や助言
- 二次災害の防止
 - ・応急対策の立案・実施
 - ・被災箇所の危険度予測

事前の体制整備

- ・職員をTEC-FORCE隊員としてあらかじめ指名するなど、事前に人員・資機材の派遣体制及び受け入れ体制を整備し、迅速な活動を実施
- ・平時に研修や訓練を行うことによる対応能力の向上
- ・活動計画や活動拠点の準備による強化

全国で約7,700名(うち九州732名)を任命(H27.10月時点)

主な活動実績

- ・平成22年10月～ 鹿児島県奄美地方豪雨
- ・平成23年3月～ 東日本大震災
- ・平成23年9月～ 台風12号(紀伊半島)豪雨災害
- ・平成24年7月～ 九州北部豪雨災害等
- ・平成25年7月～ 山口・島根豪雨災害
- ・平成25年9月 台風18号近畿地方豪雨災害
- ・平成25年10月 台風26号伊豆大島豪雨災害
- ・平成26年8月 広島土砂災害
- ・平成27年5月 口永良部島噴火
- ・平成27年9月 関東・東北豪雨災害 など

災害用対策機械の配備

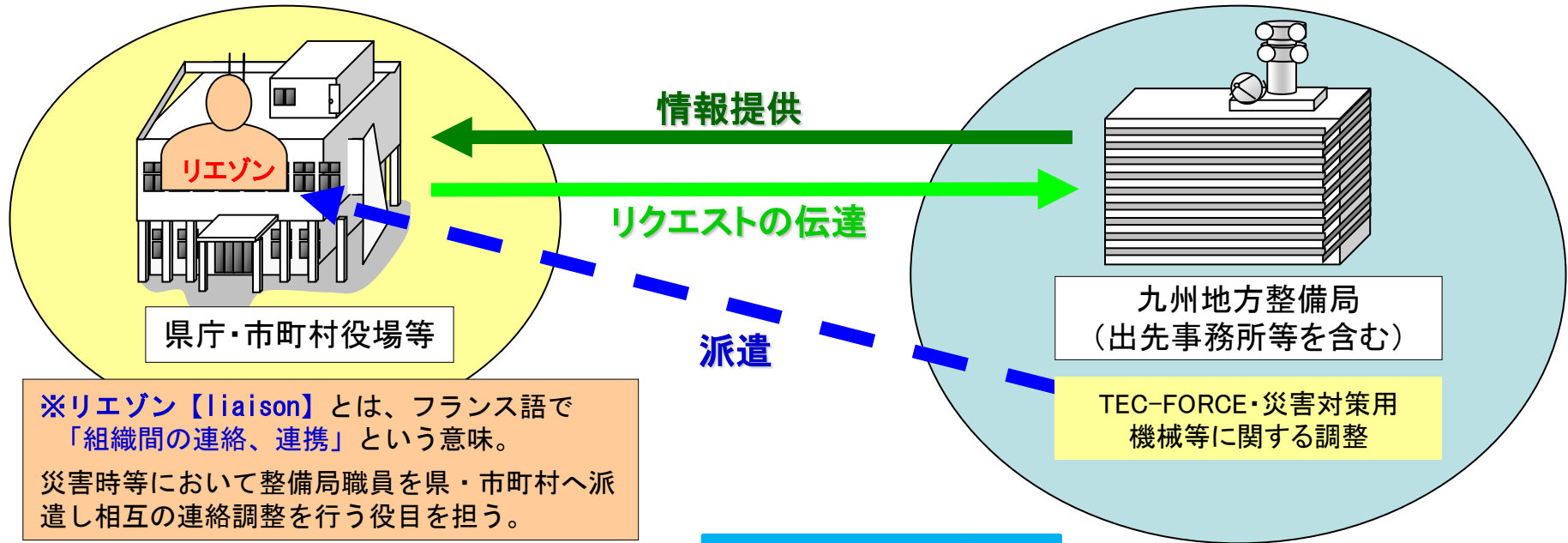
災害対策用機械(ヘリコプター、排水ポンプ車、照明車、衛星通信車、応急組立橋等)を地方整備局や事務所に配備。必要に応じ自治体に派遣。

災害時の防災対応(リエゾンの派遣)

(2)リエゾンの派遣

目的

災害復旧等の支援に関する自治体からの相談受付・整備局への伝達等を行い、迅速かつ的確な災害対策および災害支援を実施する。



活動内容

被災自治体と整備局の連絡窓口として整備局職員を直接自治体へ派遣

- ◆自治体からの情報収集
- ◆被害情報及び応援に係る情報提供
- ◆災害対策支援に係る調整

主な活動実績

- ・平成22年10月～ 鹿児島県奄美地方豪雨災害
- ・平成23年1月～ 霧島山(新燃岳)火山噴火
鳥インフルエンザ
- ・平成23年3月～ 東日本大震災
- ・平成24年7月～ 九州北部豪雨災害等
- ・平成26年8月～ 広島土砂災害
- ・平成27年5月～ 口永良部島噴火 など

災害時の防災対応 (災害対策用機械の派遣)

(3) 災害対策用機械の派遣



十のう製造機



対策本部車



排水ポンプ車



照明車



情報収集車



路面清掃車



防災ヘリコプター
はるかぜ号



衛星通信車



海大型油回収船
海翔丸



待機支援車



【佐賀ブロック】

- ・排水ポンプ車 4台
- ・路面清掃車 1台
- ・その他 6台

【長崎ブロック】

- ・排水ポンプ車 3台
- ・路面清掃車 1台
- ・その他 6台

【熊本ブロック】

- ・排水ポンプ車 5台
- ・照明車 1台
- ・船舶 2隻
- ・路面清掃車 1台
- ・その他 11台

【鹿児島ブロック】

- ・対策本部車 1台
- ・排水ポンプ車 14台
- ・照明車 14台
- ・衛星通信車 1台
- ・情報収集車 1台
- ・路面清掃車 9台
- ・その他 22台

【本局】

- ・ヘリコプター 1機
- ・その他 2台

【福岡ブロック】

- ・対策本部車 1台
- ・排水ポンプ車 10台
- ・照明車 3台
- ・衛星通信車 1台
- ・情報収集車 1台
- ・船舶 2隻
- ・路面清掃車 3台
- ・その他 28台

【大分ブロック】

- ・対策本部車 1台
- ・排水ポンプ車 12台
- ・照明車 2台
- ・衛星通信車 1台
- ・情報収集車 1台
- ・路面清掃車 2台
- ・その他 11台

【宮崎ブロック】

- ・対策本部車 1台
- ・排水ポンプ車 12台
- ・照明車 4台
- ・衛星通信車 1台
- ・情報収集車 1台
- ・路面清掃車 3台
- ・その他 13台

【九州全体】

- ・ヘリコプター 1機
- ・対策本部車 4台
- ・排水ポンプ車 60台
- ・照明車 24台
- ・衛星通信車 4台
- ・情報収集車 4台
- ・船舶 4隻
- ・路面清掃車 20台
- ・その他の機器等 99台



平成28年4月現在

